

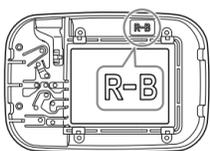
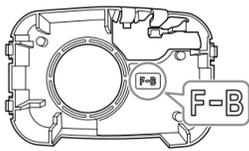
準備

アタッチメント形状

イラストは、DSC-WX100用で説明しています。

フロントアタッチメント

リアアタッチメント



アタッチメント／反射防止リング対応表

機種	フロントアタッチメント	リアアタッチメント	反射防止リング
DSC-WX50	F-A	R-A	1 (小)
DSC-WX100	F-B*	R-B*	2 (大)
DSC-WX150	F-C	R-C	2 (大)

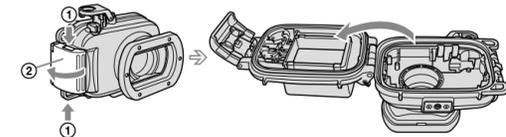
*お買い上げ時、本機に装着されています。

アタッチメントを取り換える

アタッチメントを取り換える際は、無理な力を加えないでください。

- * DSC-WX100をお使いのかたは以下の手順は不要です。
- * アタッチメント／反射防止リング対応表を確認して、必ずお使いのカメラに対応したアタッチメントを取り付けてください。
- * 対応していないアタッチメントを取り付けると、カメラの故障や水漏れの原因になります。

1 本機を開ける。

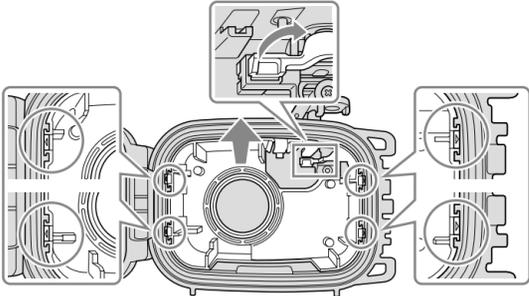


上下のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはずし、本機のボディを開く。

2 アタッチメントを取り換える

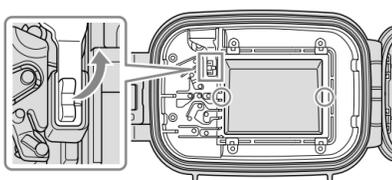
- DSC-WX100用のフロントアタッチメントF-B、リアアタッチメントR-Bを取りはずす

フロント部



はじめに、図の□印部分をはずしてください。その後、図の○印部分を持って、垂直に引き上げてください。

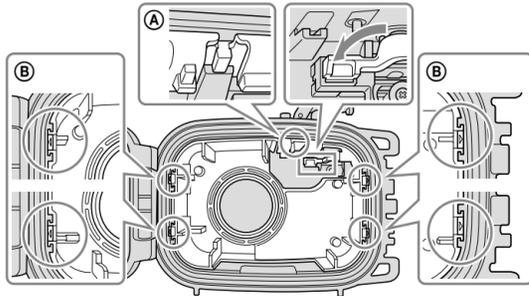
リア部



はじめに、図の□印部分をはずしてください。その後、アタッチメント内側の壁に指を添えて、図の○印部分を持って垂直に引き上げてください。

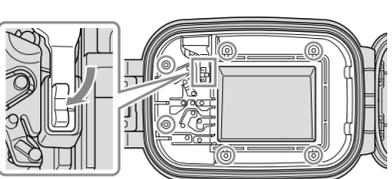
- お使いのカメラに対応したフロントアタッチメント、リアアタッチメントを取り付ける

フロント部



図の④の部分がフロントケースに入っていることを確認のうえ、図の⑥の部分(4か所)をしっかり押し込んでください。図の□印部分を凹みにはめ込んでください。

リア部



図の○印位置(6か所)をしっかり押し込んでください。図の□印部分を凹みにはめ込んでください。

* アタッチメントをはずして保管する場合は、変形させた状態で保管しないでください。

Oリングと防滴パッキンの準備

- 1 本機に取り付けてあるOリングを取りはずす。
- 2 Oリングにグリスを塗る。
- 3 Oリングを取り付ける。
- 4 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

カメラの準備

カメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所での本機の開閉はくもりの原因となります。

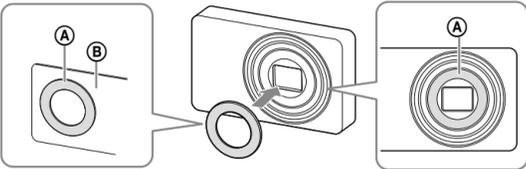
お使いのカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1 カメラのストラップをはずす。
- 2 バッテリー、メモリーカードを入れる。
十分に充電してあるバッテリーを入れてください。
十分に空き容量のあるメモリーカードを入れてください。
- 3 ON/OFF(電源)ボタンを押して、電源を入れる。
- 4 撮影モードを選択する。
- 5 MENUで「AF補助光」を「切」にする。
AF補助光は使用できません。
- 6 レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

反射防止リングについて

本機ご使用時、カメラのレンズ先端面が光に反射し、画像に写り込む場合があります。これを軽減するために、反射防止リング⑥をレンズ先端面に付けて撮影することをおすすめします。

アタッチメント／反射防止リング対応表を確認し、お使いのカメラに対応した反射防止リングを取り付けてください。

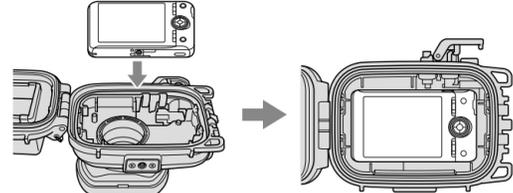


ご注意

- 反射防止リングの外径がレンズ先端面の外径からはみ出さないように貼ってください。
- 反射防止リングを貼る前に、接着面に汚れやごみなどが付着していないことを確認してから貼ってください。
- 接着面にごみなどが付着した場合は、湿った布などで拭き取ってください。
- 反射防止リングご使用後は、シート⑥に貼って保管してください。

カメラを本機に取り付ける

- 1 ON/OFF(電源)ボタンを押して、カメラの電源を切る。
電源が入ったままではカメラのレンズを傷つけることがあります。
- 2 本機にカメラを取り付ける。
カメラが正しく入っているか確認してください。



- 3 ボディを閉じて、バックルを締める。
ボディを押さえ、カチッと上下2箇所がロックされるまでバックルを押ししてください。



ご注意

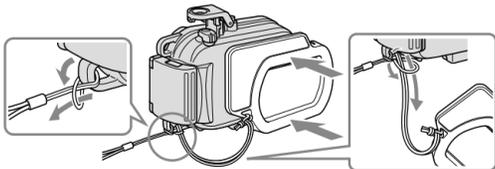
ボディを強く押さえすぎると、バックルが締まらないことがあります。

本機の操作ボタンとモードダイヤルを数回操作して、正常に動作するかご確認ください。

付属品を取り付ける

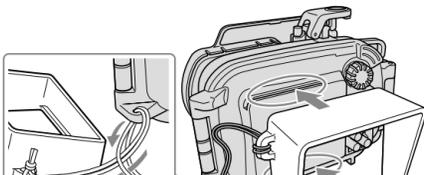
ハンドストラップを取り付ける

拡散板を取り付ける
フラッシュ撮影する場合は拡散板を使用します。
フロントプロテクターに拡散板の爪がはまるように強く押し込みます。

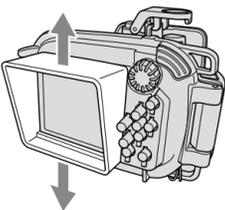


液晶フードの取り付け、取りはずしかた

液晶フード取り付け用ガイドの溝にあわせて、強く押し込んで取り付けてください。



取りはずすときは、液晶フードを外に広げるようにして、ガイドの溝から取りはずします。



ご注意

本機のボディを閉じるときに、ストラップや脱落防止ひものはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

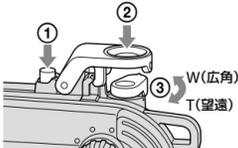
本機を使う

実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、カメラが正常に動作するか、また本機に水漏れがないかを確認してから、潜水を開始してください。

カメラの機能については、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

撮影する

ON/OFF(電源)ボタン(①)を押して、電源を入れる。
シャッターレバー(②)を押し、撮影する。



- ズームレバー(③)でズーム操作ができます。
- 動画撮影はMOVIE(動画)ボタンで行えます。(開始/停止)
動画撮影中でもシャッターレバーを押すと静止画の撮影が行えます。

機能を使う／設定する

本機ではカメラのコントロールホイールは操作できませんが、カメラのメニューを使用して設定を変更することができます。
カメラによっては、使用できない機能があります。

モードを選択する

本機のモードダイヤルで撮影モード(●/□/■)を選択することができます。

- 動画撮影時は音声を正常に記録することはできません。
- 水中で静止画撮影をするときは、シーンセレクションの中の●(水中)をお使いになることをおすすめします。
水中でスイングパノラマ撮影するときは、スイングパノラマ撮影モードの●(水中スイングパノラマ)をお使いになることをおすすめします。
水中で動画撮影をするときは、動画撮影モードの中の●(水中)をお使いになることをおすすめします。
- 水中スイングパノラマ撮影する際は、体を安定させて撮影することをおすすめします。

水中ホワイトバランスを選択する

SCN(シーンセレクション)で●(水中)、□(スイングパノラマ撮影)で●(水中スイングパノラマ)または■(動画撮影)で●(水中)を選んでいるときの色合いを調整します。

●(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
●(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
●(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。
●(ワンプッシュ)	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。「ワンプッシュ取込」で取り込んだ「白」が基準になる。 [オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
●(ワンプッシュ取込)	[ワンプッシュ]での基準になる「白」を取り込む。

ご注意

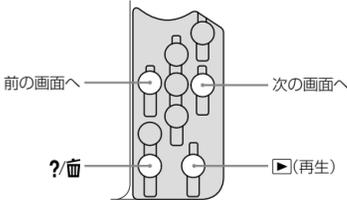
- 海の色によっては、撮影された色がうまく合わないことがあります。
- フラッシュが[強制発光]の場合、水中ホワイトバランスは[オート]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。

撮影時のご注意

- 撮影一時停止状態が一定時間続くると自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください
- 本機でフラッシュ撮影を行う場合、フラッシュ到達距離が短くなり全体的に暗くなる傾向があるため、撮影環境(真っ暗な場所など)によっては撮影距離が大幅に短くなる場合があります。その場合は外付けの水中ライトやフラッシュの併用をおすすめします。
- 水中でフラッシュを発光すると、水中の浮遊物に反射して、多数の丸い光として撮影されてしまう場合があります。
- 撮影条件によっては、写り込みが発生する場合があります。そのような場合は撮影条件を変えてご使用ください。

再生する

本機の操作ボタンを使って、撮影した画像を液晶画面で見ることができます。このとき音声は聞こえません。



カメラを取りはずす

- 1 電源を切る。
電源が入ったままではカメラのレンズを傷つけることがあります。
- 2 本機を開ける。
- 3 カメラを取り出す。
長時間ご使用になったときは、カメラが熱くなります。電源を切ったからしばらく放置したあとに、カメラを取り出してください。

カメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

ご注意

本機を開ける前に、本機を水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。本機を開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がカメラにかからないようにご注意ください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- 本機内部に水滴がつく
→ Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
→ Oリングの取り付けかたを確認してください。
- 撮影ができない
→ カメラの温度が上がっていたら、カメラの温度が下がるまで涼しいところに置く。
→ お使いのカメラに対応したアタッチメントを正しく取り付ける。
- 色がおかしい(水中での使用時)
→ 水中ホワイトバランスの設定を確認する。
- モードが切り換わらない
→ アタッチメントに汚れやゴミなどが付着していないか確認し、付着している場合は湿った布などで拭き取ってください。
→ お使いのカメラに対応したアタッチメントを正しく取り付ける。
- 本機のボタンが重い/引っかかり感がある/戻りが遅い
→ ボタンの内部にはOリングが入っているため、時間を置いてのご使用開始時はこのようになることがありますが、故障ではありません。

主な仕様

耐圧

水深40 mまで

外形寸法(最大突起部を除く)

約148 mm×112 mm×97 mm(幅/高さ/奥行き)

質量

約590 g(本体のみ)

同梱物

- ウオータープルーフケース(1)
- ハンドストラップ(1)
- 液晶フード(1)
- 拡散板(1)
- フロントアタッチメント(3)(1つは本体に装着済み)
- リアアタッチメント(3)(1つは本体に装着済み)
- 反射防止リング(2)
- グリス(1)
- 交換用Oリング(1)
- スぺーサー(1)
- 印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。